

令和2年3月23日
練馬区

区主催イベント・事業等に関する対応方針

区では、新型コロナウイルスの感染拡大防止と区民の不安解消のため、区が主催するイベント等を原則として延期または中止とする方針を2月26日に決めました。この方針は3月末までのものとし、4月以降の対応については、政府対策本部に設置された専門家会議の提言を踏まえ、新たに示される国の方針を見据えて、判断することとしていました。

3月19日に公表された専門家会議の提言は、「国内の感染状況について、都市部を中心に少しずつ増えており、現時点では、社会・経済機能への影響を最小限としながら、感染拡大防止の効果を最大限にするという、これまでの方針を続けていく必要がある」としています。

これを受け、3月20日に示された国の方針では、「国民におかれては、換気が悪く、多くの人々が密集し、近距離での会話や発声が行われるという3つの条件が同時に重なるような場を避ける行動を、引き続きお願いする。」という要請がありました。臨時休校中の学校に関しては、「新学期を迎える学校の再開に向けて、具体的な方針を、できる限り早急に文部科学省において取りまとめる。」との考えが示されました。

これらを踏まえ、4月以降の区主催イベント・事業等に関する対応方針を下記のとおりとします。この方針は、当面、4月末までのものとし、4月中旬に見直しを行います。ただし、流行状況や国・東京都の対策方針に変化が見られた際など、必要に応じて随時見直しを行います。

記

区民の命と健康を守ることを第一に対応する。合わせて、社会・経済への影響を最小限とするよう努める。

全てのイベント・事業等について、専門家会議から示された感染リスクが高まる3つの要素（密閉空間、人の密集、近距離での会話や発声）を基準に改めてリスク評価を行う。その結果、リスクへの対応が整わないものは

中止・延期とする。感染リスクを低減させることが可能で、かつ実施の必要性が特に高いものは順次実施する。その際は、手洗いや咳エチケットなど基本的な感染症対策の徹底に加え、専門家会議提言に添付されている「多くの人が参加する場での感染対策のあり方の例」を十分参考にする。

高齢者や基礎疾患を有する方など、重症化のリスクが高いとされる方を対象とするイベント・事業等は、より一層慎重に対応する。

【具体的対応】

- 乳幼児健診は、月齢・年齢ごとに成長や発達を確認するものであり、先送りができないだけでなく、保護者の育児不安解消のためにも必要性が高い。このため、感染リスクが高まる3つの条件が重ならないよう、換気を徹底する、集団指導は実施しない、受付時間を分散するなど多くの人が集まらないようにする、問診室・待合室のレイアウトを工夫し、近距離での会話をできるだけ控えるなどの対策を講じたうえで4月から順次再開する。
- 4月26日(日)開催予定の「照姫まつり」は、不特定多数の人が来場するほか、100名を超える参加者の行列が練り歩き、多くの来場者とともに関の声をあげるなど、感染リスクが高まる3要素のうち多くの人が密集する、近距離での発声への対応が難しいことから中止とする。
- 新学期を迎える学校の再開については、今後示される文部科学省の方針も参考にしながら準備を進める。
再開の際は、感染拡大防止に向けた取組み内容を事前に公表する。